



桑名市津波避難施設整備事業 [三重県]

第75期 中間株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日

 株式会社 ピーエス三菱

証券コード：1871



Top Message

代表取締役 社長執行役員

森 拓也

■ 当第2四半期の事業環境と業績概況について

当第2四半期累計期間における我が国経済は、中国での都市封鎖に伴うサプライチェーンの停滞があったものの、製造業の輸出は持ち直して回復基調にあり、非製造業においては、これまで活動制限されていたサービス消費が回復したことを受け、全産業で小幅ながらも企業収益は増益基調となっております。大企業の設備投資も依然として積極姿勢を維持しており、今後も緩やかな回復が見込まれております。しかしながら、新型コロナウイルスの感染状況や資源価格の動向、中国のゼロコロナ政策など下振れリスクも多く、当面は不確実性の懸念が色濃い景気回復になると想定されます。

当社グループが属する建設産業においては、建築分野で民間建築工事の発注が回復基調ではあるものの、熾烈な受注競争と資材・資源高により、収益性の確保が極めて困難な状況にあります。一方、土木分野では、気候変動に起因する甚大な自然災害に備えた国土強靱化対策や老朽化したインフラ整備等の建設投資が引き続き底堅い状況となっております。

このような経済状況のもと、当社は「中期経営計画2022」の基本方針・戦略に基づき、持続的な企業成長を目指してまいりました。受注高については539億500万円（前年同四半期比4.8%減）、売上高は475億400万円（前年同四半期比11.6%減）、営業利益は22億9800万円（前年同四半期比42.4%減）となりました。

■ 今後の取り組みについて

当社グループを取り巻く事業環境は、建設就労人口の減少や高齢化による慢性的な人手不足が依然として深刻な問題となっている一方、新設から維持修繕に質的变化した市場への対応など大きな転換期を迎えております。また、持続可能な社会の実現に向けたカーボンニュートラルへの取り組みもさらに加速していかなければなりません。限られた人的資本で幅広い経営課題に取り組みながら、ワークライフバランスの実現や収益力・生産性の向上を図るためには、さまざまな事業活動において「変革」が求められている時期であると認識しております。

このような環境下において、当社グループは建設事業を通じて国民が安全で安心して生活できる社会インフラを提供し、社会の期待や要請に真摯に応えてまいります。今年度より新たに策定した「中期経営計画2022」の基本方針・基本戦略を着実に実行し、戦略テーマである「環境に配慮した事業活動を推進し、成長分野における収益性を強化するため、建設DXの推進と多様な人財活用により生産性を進化させる」ことを最優先に取り組んでまいります。

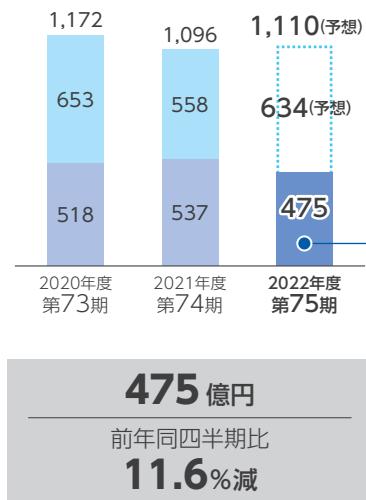
株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

[長期ビジョン]

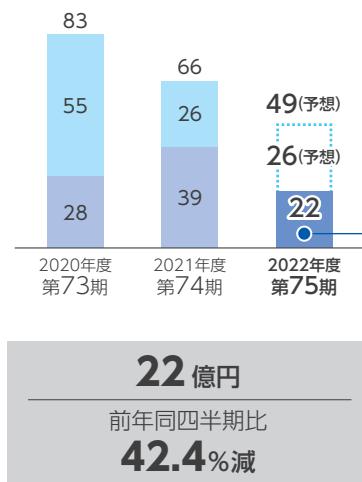
プレストレストコンクリート技術の先駆者として
さらなる深化と新技術への飽くなきチャレンジで
地球にやさしく、安全で快適な社会の実現に貢献する
従業員が一丸となり魅力ある企業を目指してまいります

■決算ハイライト (単位：億円)

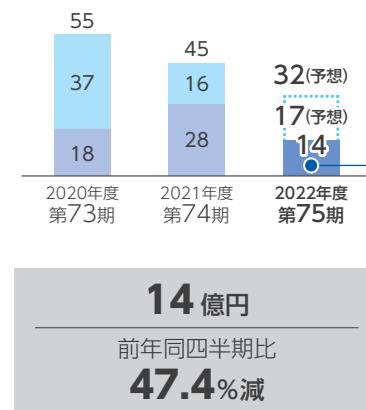
連結売上高



連結営業利益



連結当期純利益*



■ 前期 ■ 後期

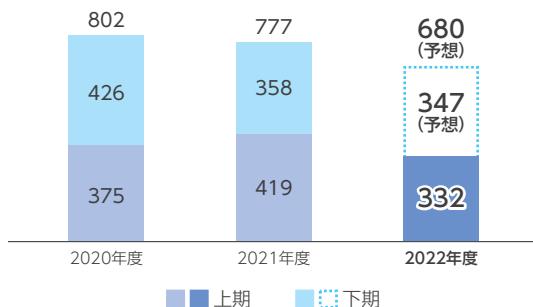
*連結損益計算書上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

※本誌に記載されている業績予想は、作成時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
※億円以下は切り捨てで集計していますので、合計に差異がある場合があります。

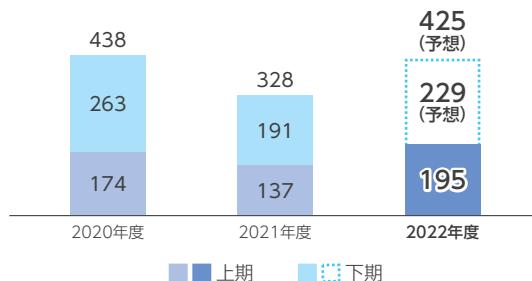
セグメント情報 (連結)

	売上高		売上総利益	
	上期	通期見通し	上期	通期見通し
土木事業	313億円 前年同期比 7.59% ↓	683億円 前年同期比 1.11% ↑	57億円 前年同期比 6.15% ↓	107億円 前年同期比 9.33% ↓
建築事業	150億円 前年同期比 20.33% ↓	400億円 前年同期比 0.40% ↓	10億円 前年同期比 44.22% ↓	35億円 前年同期比 2.36% ↓
非建設事業 (製造・その他)	11億円 前年同期比 21.23% ↑	27億円 前年同期比 39.99% ↑	1億円 前年同期比 16.24% ↓	4億円 前年同期比 64.25% ↑

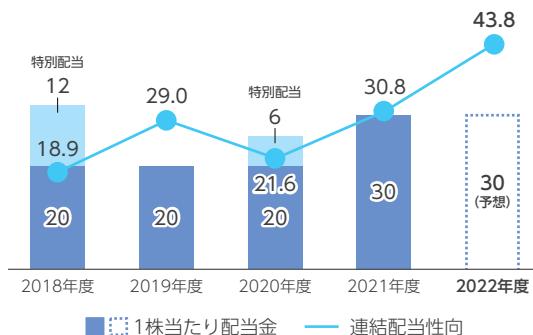
■ 土木事業受注高 (単位:億円)



■ 建築事業受注高 (単位:億円)



■ 1株当たり年間配当金の推移 (単位:円)



通期の業績見通し(連結)

受注高は、土木事業は上期で期初計画を下回ったものの、建築事業は大型純製品の受注獲得により上回りました。通期は土木事業で確実に受注を積み重ねる期初計画の達成を目指します。

売上高は、上期実績は総額で期首計画を下回ったものの、土木事業は予算超過、建築事業は大きく予算未達となりました。通期は手持工事の着実な進捗により期初計画の達成を目指します。

売上利益は、上期実績で主に土木事業の原価改善及び設計変更獲得等により売上利益率が好転しました。通期は建築事業の苦戦が続きますが、土木事業の好調を維持し期初計画の達成を目指します。

営業利益は、販管費の効率的運用による削減等により期初計画からの土積みを目指します。

財務情報の詳細データは
右記を読み込みの上、
ご参照ください



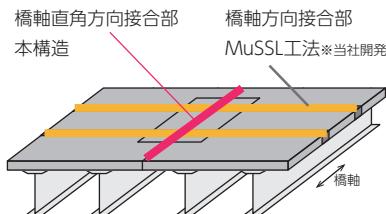
※本誌に記載されている業績予想は、作成時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。
※億円以下は切り捨てて集計していますので、合計に差異がある場合があります。

床版の多分割取替工法に適する縦目地構造の開発

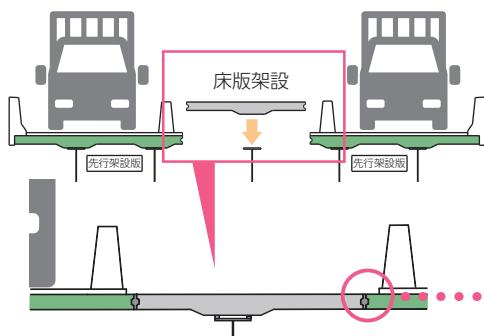
—無収縮モルタルを用いた縦目地構造

現在、各地で進められている床版取替工事。交通量が多く3車線以上ある道路では、交通への影響を極力与えないよう常時片側2車線以上を確保しながら工事を進めるために、床版を分割施工するなどの工夫を施しています。

このようなケースに対応可能な橋軸直角方向接合部（縦目地）の構造を開発しました。本構造は無収縮モルタル目地を用いて目地部にプレストレスを導入するもので、当社が開発し実績がある半断面取替工法に本工法が加わることで、今後首都圏などの床版取替工事への活用が期待されます。



■床版取替を多分割で行う場合



床版を落とし込んだ際の目地



輪荷重走行試験の様子

特長

多分割床版の施工に対応

- ・既存の無収縮モルタルを採用し、施工性に優れ、コストアップも回避

道路状況に応じた施工が可能

- ・分割した床版架設の順番を問わない
- ・車線切り回しの自由度が高まる

interview

■開発のきっかけは？

3車線以上の道路において多分割の床版取替工事に対応できる縦目地構造が必要になると考え、狭い目地幅、施工誤差を柔軟に吸収できる縦目地構造の開発に着手しました。施工性の良い材料をいろいろ試した結果、無収縮モルタル目地が最適と判断しました。

■今後の課題は？

本構造を活用し、都市部の狭隘な現場でもスピーディーに施工可能な架設方法を全社で検討していきます。

■輪荷重走行試験等の苦労は？

隣の車線で車両が走行しているという、実際の施工状況を想定して実験を行いました。車両による振動を再現した状態で施工方法や物性を確認することに苦心しましたが、十分な疲労耐久性を証明できました。



技術本部技術部
堀内 達斗

創立20周年記念事業

10月1日に迎えたピーエス三菱創立20周年を記念して、6つの記念事業を実施いたしました。



重要文化財「第一大戸川橋梁」の周辺整備事業への協力

「第一大戸川橋梁」は当社施工(当時ピー・エス・コンクリート)により1954年に竣工した日本初の本格PC鉄道橋です。2008年に国の登録有形文化財に登録され、そして2021年にPC構造物としては初めてとなる重要文化財に指定変更されました。重要文化財に指定されたことにより、観光資源としての活用も視野に当社と甲賀市(滋賀県)、信楽高原鐵道社が協同し標準桁(写真右)を含む本橋梁の周辺整備事業計画を進めてきました。当社は、その事業費用を20周年記念事業の一環として同市へ寄付しました。

なお、9月には甲賀市庁舎にて感謝状贈呈式が催され、森社長は岩永甲賀市長より感謝状を受け取りました。



感謝状贈呈式(右が森社長)



周辺整備状況(左奥が第一大戸川橋梁)



大宮寮のZEH化^{※1}

1979年に建てられた当社の独身寮は竣工から40年以上が経過し、建屋および設備等の老朽化が進んだことから、建替えが検討されました。

プロジェクトを立ち上げ、さまざまな議論を重ね検証した結果、環境負荷低減および建物規模、搬入路、施工性などを総合的に判断し、木造3階建を採用しました。

さらに、脱炭素化の推進および従業員の居住快適性向上の観点から、太陽光発電の設置および外壁他の断熱構造見直し等により「低層Nearly ZEH-M^{※2}」の適用住戸とした他、住戸の一つをBCP備蓄品保管庫、対策本部拠点およびサテライトオフィス対応可能な仕様としました。

※1 ZEH(ゼッチ:ネット・ゼロ・エネルギーハウス)とは、省エネや創エネを利用し、住宅で使う一次エネルギーの年間消費量の収支ゼロを目指した住宅のこと

※2 「低層Nearly ZEH-M」とは、経産省の定義において1~3層の集合住宅で、全住戸で強化外皮(断熱)基準をクリアし、一次エネの省エネ率20%、再エネを含む省エネ率75%を達成する性能を満たした住戸のこと



完成予想図

所 在: 埼玉県さいたま市見沼区大和田町
構造規模: 木造3階 延床面積: 782.55㎡(236.72坪)
用 途 等: 共同住宅(独身寮) 1R: 30戸
設計施工: ポラテック株式会社



技術研究所のZEB化※1

2050年のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みとして、技術研究所のZEB化を図ります。

本プロジェクトは、ZEBに関する知見を深め、ディテールのノウハウを蓄積することで、今後の営業活動においてより具体的な提案を可能とすることを目指しています。

本計画では、敷地の狭隘な市街地でのZEB化を想定し、建物単体でNearly ZEB(基準一次エネルギー消費量75%以上低減)が可能な計画とし、BELS認証※2の取得を目指しています。(来年5月末完工予定)

※1 ZEB(ゼブ:ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)とは、省エネや再生可能エネルギーを利用し、一次エネルギー消費量の収支ゼロを目指した建物のこと

※2 BELS(ベルス)とは、建築物省エネルギー性能表示制度のこと。新築・既存の建築物の省エネ性能を第三者評価機関が評価し認証する制度



研究助成金の支給

当社技術の中核を担うプレストレストコンクリートに関する研究を支援し、その発展に寄与する目的で、若手研究者に対して研究助成案件を募集しました。

選考委員会により5件の案件を採択し、10月3日に当社Webサイトで報告しました。



- ・研究テーマ 土木・建築における『プレストレストコンクリートに係る研究』
- ・助成金額 100万円(1件あたり)
- ・助成件数 5件(年間最大)
- ・実施期間 2022年度より5年間



海外研修の実施

今後の海外事業拡大に対応できるグローバル人材育成の契機として、一定程度現場実務を経験した海外要員登録者や社員を選抜し、海外研修を実施します。

日本とは異なる文化や環境下で施工現場やPC工場を見学し、また現地技術者との交流を通して技術だけに留まらないグローバルな知見を身につけ、今後の業務に展開させていきます。

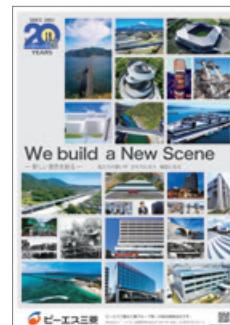
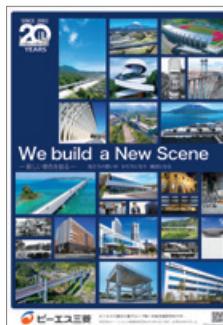
なお、実施時期は新型コロナウイルス感染の状況がある程度収束した後、実施場所は当社が工場を有しているインドネシアとベトナムでの開催を予定しています。



20周年記念ポスターの作成・広告の掲載

20周年記念ポスターとロゴを制作しました。このポスターは、当社が施工した土木・建築2つの事業の多様性と合併20年、さらに創立70年のあゆみを感じられる新旧の実績ビジュアルで、当社の過去から未来を見渡せるデザインとしています。この20周年記念ポスターを事業所等に掲示し、発注者やお客様とのコミュニケーションツールの一つとして活用しています。

また、建設業界紙と週刊ビジネス誌へ同ポスターをアレンジしたカラー広告を10月3日の式典日に同日掲載することで、多くのステークホルダーへの認知度向上とメッセージを発信しました。



ピーエス三菱グループ 大規模リニューアル工事への取り組み

現在、全国的に高速道路の大規模なリニューアルプロジェクトが進められています。

当社が共同企業体として参画している「中国自動車道 吹田JCT～中国池田IC間橋梁更新工事」は、都市圏の重交通路線における長期間の通行規制を伴ったリニューアル工事のため、工期短縮・社会的影響の低減が求められています。

1 高品質のプレキャストPC床版を供給

高速道路を通行止めにして行う集中工事では、高品質のプレキャストPC床版が必要不可欠で、その重要部材の設計・製作・運搬を担当しています（製作・運搬は当社グループのピー・エス・コンクリート）。

確かな設計による高品質な製品の安定的な供給により、開通から約50年が経過した中国自動車道における大規模なリニューアル工事に貢献しています。



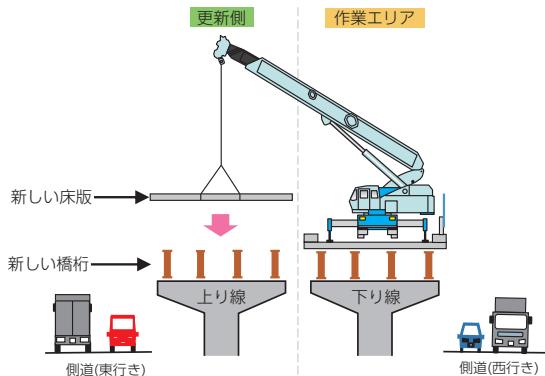
プレキャストPC床版製作1,188枚(予定)

2 5年の工期を2年に短縮

本工事では、高速道路の両側に一般道の側道が並行しており、作業スペースを確保することが困難で、さらに、連続高架橋のため工事量も従来の更新工事に比べて非常に大きなものです。

このような大規模な工事のため、施工方法も従来の対面通行規制ではなく上下線を終日通行止めとすることで、片側の車線を作業ヤードとして使用し、多くの施工機械が配置できるようになり工期の短縮が可能になりました。

交通規制は、1～1.5カ月間の終日通行止めを2年にわたり6回実施し、新名神高速道路を迂回路（右図）として使用することで、高速道路利用者への影響を低減させています。



上下線通行止めにして行う施工イメージ

交通規制と更新作業のイメージ ■ 更新作業 ■ 作業ヤード ⊗ 通行止め

	2021 GW	8月	2022 1月	GW	8月	2023 1月
上り線	繁忙期	更新作業	繁忙期	更新作業	繁忙期	繁忙期
下り線	繁忙期	更新作業	繁忙期	更新作業	繁忙期	繁忙期

本工事について

中国自動車道 吹田JCT～中国池田IC間(約10.8km)の橋梁の橋桁を含めた更新工事。当社は、共同企業体の構成メンバーとしてプレキャストPC床版の設計・製作、工場から施工箇所までの運搬を担当。

中米・カリブ海地域への進出

【セントルシア工事報告】

この度、日本とセントルシア間で締結された無償資金協力贈与契約に基づく「カルデサック流域橋梁架け替え計画」に参画し、当社として初めて中米・カリブ海地域での工事に取り組みました。

セントルシアで初めてとなる中空床版橋を採用し、同国内最長の橋梁工事でしたが、関係者および現地作業員の協力により、当社請負の上部工事を無事完成することができました。

今回の経験を活かして海外事業の拡大を目指し、さまざまな地域での取り組みを進めていきます。



架け替え前



竣工後

2022年度についても、新型コロナウイルス感染症拡大の収束見通しが立たない中、多くの社外向けの活動が制限される状況でしたが、建設業や当社へのご理解をより一層深めていただくために、昨年以上に十分な感染防止対策を講じた上で開催したCSR活動をご紹介します。



現場見学会の開催

土間への描画状況



本年6月に三重県桑名市の津波避難施設工事現場(表紙ご参照)近くに所在する、桑名市立伊曾島小学校の児童81名を対象に現場見学会を開催しました。

見学会では、避難施設の建設目的や施工方法を説明した後、土間に児童それぞれ思いの絵を描いてもらいました。また、測量機器を使い目標物を測定する測量体験や、ドローンの飛行見学も行い大変喜んでいただけました。

絵を描いている時の歓喜の声や元気な姿に工事完成への活力をもらうことができた、と現場より報告が上がってきました。

測量体験



当社Webサイト内にて、CSR活動の情報がご覧いただけます。

アドレスはこちら

▶ <https://www.psmic.co.jp/about/csr/>



完成工事のご紹介・・・土木編



常磐自動車道 大久川橋(PC上部工)工事 [福島県]

この工事は、常磐自動車道のいわき四倉ICから広野IC間に位置する橋長601mのPRC9径間の橋梁の4車線化工事です。移動作業車を最大12基同時に稼働して施工を行うことで、大幅な工程促進を図りました。

高速道路の4車線化が震災復興を支える交通基盤として活用されることが期待されています。



静岡焼津線(石部海上橋) 橋梁耐震補強補修工事 [静岡県]

本橋は、駿河湾沿いの静岡市から焼津市にかけて続く、険しい大崩海岸に位置する国内最古級の海上大橋です。厳しい自然環境および経年劣化に起因する損傷が著しく認められる状態であったことから、橋脚補強には当社独自の工法であるPCコンファインド(水中施工)が採用されました。

この橋の耐震性の向上および長寿命化を図ることにより、生活道路や観光道路として地域に寄与する道路の保全に貢献しています。



貝塚JCT～貝塚橋梁補修工事 (31-1) [福岡県]

この工事は、供用開始から40年以上経過した福岡都市高速道路の福岡高速4号線・貝塚JCTの橋梁補修工事です。

炭素繊維シート貼付けによる床版補強など橋梁の耐久性向上や長寿命化を図ることで、安心かつ安全な都市高速の保全に貢献しています。



炭素繊維シート貼付け状況



補修後

完成工事のご紹介・・・建築編



緑あふれる中庭



明るく開放的なテラス

ザ・パークハウス 石神井公園テラス [東京都]

練馬区の閑静な住宅地に立地する86戸の分譲マンションで、当社の設計施工で建設しました。

地下1階 地上3階の4棟で構成され、デザインされた外観と緑あふれる中庭、奥行き5.8mのテラスによる、明るく開放的な地下住戸が特徴となっています。



大森電機工業株式会社本社建替計画 [神奈川県]

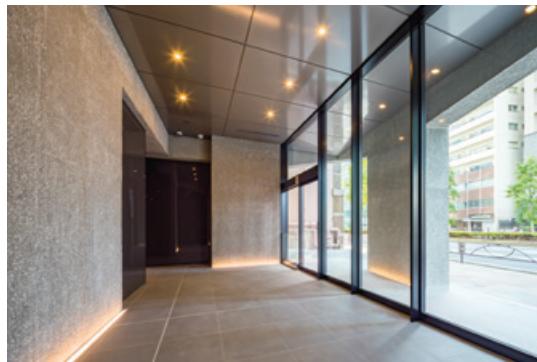
横浜市都筑区に在る電子機器の開発・設計・生産を行うトップメーカーの工場を、当社の設計施工で建設しました。

鉄骨造4階建て、メタリックな外観と機能的な動線、清潔な帯電防止床、居心地の良い食堂が特徴となっています。



魏町444プロジェクト [東京都]

魏町の新宿通りに面した地上12階建ての事務所ビルで、T字にデザインされた構造が特徴です。変形敷地なりの平面計画で外壁に直角部分がなく、1スパンの主要構造部がT字橋脚状となっており、これを当社のPC技術で実現しました。



エントランス

■ 会社概要

商号	株式会社ピーエス三菱 P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.
設立	1952年3月1日
資本金	4,218,500,000円
従業員数	単体：1,119名 連結：1,672名
本社・支店	
本社	〒104-8215 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9111
東京土木支店	〒104-8572 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9511
東京建築支店	〒104-8572 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9611
札幌支店	〒001-0010 北海道札幌市北区北10条西二丁目13番地2 (011) 717-2133
東北支店	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号 (022) 223-8121
名古屋支店	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 (052) 221-8486
大阪支店	〒530-6027 大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号 (06) 6881-1170
広島支店	〒730-0016 広島県広島市中区鞆町13番15号 (082) 223-5092
九州支店	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号 (092) 739-7001

■ 役員

取締役および監査役

代表取締役	森 拓也
代表取締役	蔵 本 修
代表取締役	居 村 昇
取締役	三 島 康 造
取締役	佐々木 晋
取締役	佐 野 裕 一
取締役	中 野 幸 正
取締役	加 藤 秀 樹
取締役	保 坂 美 江 子
常勤監査役	朝 倉 浩
常勤監査役	水 嶋 一 樹
常勤監査役	小 山 靖 志

(注) 取締役佐野裕一、中野幸正、加藤秀樹、保坂美江子の4氏は社外取締役であります。

監査役朝倉浩、水嶋一樹の両氏は社外監査役であります。

執行役員 (※は取締役兼務)

※ 社長執行役員 (全般統理)	森 拓也
※ 副社長執行役員 (社長補佐・土木本部長・ 海外事業担当兼国内関係会社担当)	蔵 本 修
※ 専務執行役員 (建築本部長)	居 村 昇
※ 常務執行役員 (技術本部長・安全品質環境担当)	三 島 康 造
※ 常務執行役員 (管理本部長)	佐々木 晋
常務執行役員 (経営企画担当 兼サステナビリティ推進担当)	川 原 利 朗
常務執行役員 (建築本部副本部長)	光 田 秀 幸
常務執行役員 (東京土木支店長)	森 島 修
常務執行役員 (大阪支店長)	藤 原 博 之
執行役員 (東京建築支店長)	寒 川 勝 彦
執行役員 (建築本部副本部長 兼建築営業部長)	宮 岡 良 幸
執行役員 (海外事業室長)	榎 谷 孝 志
執行役員 (名古屋支店長)	田 原 道 和
執行役員 (土木本部副本部長 兼土木営業部長兼高速鉄道推進室長)	櫻 林 美 津 雄

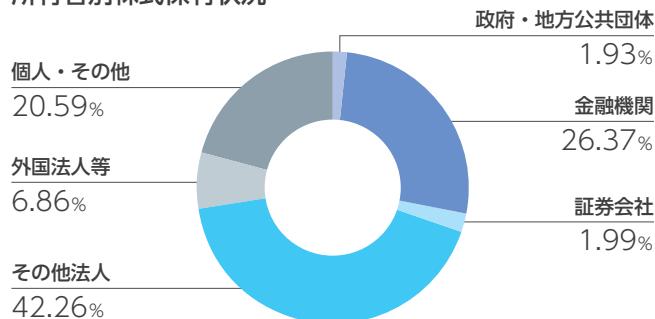
■ 株式の状況

発行可能株式総数	11,000万株
発行済株式の総数	47,486,029株
株主数	12,407名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
UBE三菱セメント株式会社	15,860,354	33.40
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	4,491,300	9.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,201,400	6.74
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,132,700	6.59
住友電気工業株式会社	1,834,800	3.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口・75949口)	964,025	2.03
岡山県	839,740	1.76
RE FUND 107-CLIENT AC	565,400	1.19
三菱地所株式会社	496,000	1.04
ピーエス三菱取引先持株会	462,560	0.97

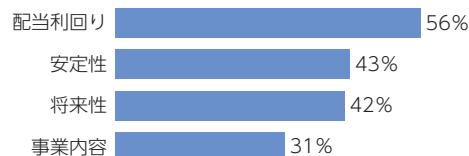
所有者別株式保有状況



株主様アンケート結果のご報告

第74期株主通信において実施させていただきましたアンケートでは、大変多くの株主様にご協力をお願いし、厚く御礼申し上げます。この貴重なご意見・ご要望を真摯に受け止め、今後の株主通信の発行およびIR活動に活かし、取り組んでまいります。

当社の株式を購入された理由 (複数回答)



中心にご覧いただいた内容 (複数回答)



ご意見・ご要望 (要旨抜粋)

- ・橋梁専門の建設会社だと思っていたが、実に多様な事業に携っていて頼もしく、また嬉しく思った
- ・まだまだ知名度は低いので、橋といえば貴社と認められるように、今後も社会への貢献を期待している
- ・完成写真では知っている場所があり親近感が沸いたのでこのまま投資を続けたいと思った

ホームページのご案内

財務・業績情報、IR資料、プレスリリース等、IRに関する情報をタイムリーに掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

<https://www.psmic.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.psmic.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com> **いいかぶ** **検索**
アクセスコード 1871

 **空メールによりURL自動返信** kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（QuoカードPay500円）を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

（株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズについての詳細 <https://www.link-cc.co.jp/>）

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」MAIL : info@e-kabunushi.com

表紙の説明



当社初となる設計施工一括・公募型プロポーザル方式で受注した元請工事です。当施設は、海拔ゼロメートル地帯の長島町伊曾島地区において、津波に耐えうる頑強性や押し寄せてきた流木などの漂流物が施設内に留まらないように、柱と柱の間の開口部を大スパンとしました。支店・部門・グループ会社の垣根を超え、それぞれの知見を持ち寄って強固な連携で挑んだ現場です。

コーポレートマーク



生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。また、オレンジが大地（＝土木）、ブルーが空（＝建築）、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。



JPX-NIKKEI Mid Small

2019-2022年度選定



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。